

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5758514号
(P5758514)

(45) 発行日 平成27年8月5日 (2015.8.5)

(24) 登録日 平成27年6月12日 (2015.6.12)

(51) Int.Cl.

F I

G O 2 F 1/1368 (2006.01)

G O 2 F 1/1368

G O 2 F 1/1343 (2006.01)

G O 2 F 1/1343

請求項の数 7 (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2014-30132 (P2014-30132)
 (22) 出願日 平成26年2月20日 (2014.2.20)
 (62) 分割の表示 特願2007-281766 (P2007-281766)
 の分割
 原出願日 平成19年10月30日 (2007.10.30)
 (65) 公開番号 特開2014-115676 (P2014-115676A)
 (43) 公開日 平成26年6月26日 (2014.6.26)
 審査請求日 平成26年2月20日 (2014.2.20)
 (31) 優先権主張番号 10-2006-0105656
 (32) 優先日 平成18年10月30日 (2006.10.30)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)
 (31) 優先権主張番号 10-2006-0125332
 (32) 優先日 平成18年12月11日 (2006.12.11)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(73) 特許権者 512187343
 三星ディスプレイ株式会社
 Samsung Display Co.,
 Ltd.
 大韓民国京畿道龍仁市器興区三星二路95
 95, Samsung 2 Ro, Giheung-Gu, Yongin-City,
 Gyeonggi-Do, Korea
 (74) 代理人 100121382
 弁理士 山下 託嗣
 (74) 代理人 100175628
 弁理士 仁野 裕一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 液晶表示装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第1データ信号電圧が入力される第1データラインに接続されるソース電極と、前記ソース電極に対向し、第1コンタクトホールを介して第1画素電極に接続されるドレイン電極とを含む第1薄膜トランジスタT1と、

第1蓄積キャパシタラインに接続される下部電極と、絶縁層を介して前記下部電極に重畳し、第2コンタクトホールを介して前記第1画素電極に接続される上部電極とを含む第1蓄積キャパシタCST1と、

第2蓄積キャパシタラインに接続される下部電極と、絶縁層を介して前記下部電極に重畳し、前記第1コンタクトホールを介して前記第1画素電極に接続される上部電極とを含む第3蓄積キャパシタCST3と、

第2データ信号電圧が入力される第2データラインに接続されるソース電極と、前記ソース電極に対向し、第3コンタクトホールを介して第2画素電極に接続されるドレイン電極とを含む第2薄膜トランジスタT2と、

前記第1蓄積キャパシタラインに接続される下部電極と、絶縁層を介して前記下部電極に重畳し、第4コンタクトホールを介して前記第2画素電極に接続される上部電極とを含む第2蓄積キャパシタCST2と、

前記第2蓄積キャパシタラインに接続される下部電極と、絶縁層を介して前記下部電極に重畳し、前記第3コンタクトホールを介して前記第2画素電極に接続される上部電極とを含む第4蓄積キャパシタCST4と、

10

20

を備え、

前記第 1 蓄積キャパシタラインと前記第 2 蓄積キャパシタラインとは連結されていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

前記第 3 蓄積キャパシタ C S T 3 の上部電極は、前記第 1 薄膜トランジスタ T 1 のドレイン電極と一体的に形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 データ信号電圧と前記第 2 データ信号電圧は、互いに異なる階調電圧カバリーによって生成されることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記第 4 蓄積キャパシタ C S T 4 の上部電極は、前記第 2 薄膜トランジスタ T 2 のドレイン電極と一体的に形成されることを特徴とする請求項 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 ～ 第 4 蓄積キャパシタ C S T 1 ～ C S T 4 は、互いに電氣的に接続されることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 6】

前記第 1 薄膜トランジスタ T 1 は、1 つの水平周期中の一定期間の間、前記第 1 データ信号電圧を第 1 画素電極に印加し、

前記第 2 薄膜トランジスタ T 2 は、一つの水平周期中の一定期間を除く期間の間、前記第 2 データ信号電圧を第 2 画素電極に印加することを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

前記第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 は、前記第 4 蓄積キャパシタ C S T 4 より容量が大きいことを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は液晶表示装置に係わり、特に、静電気による薄膜トランジスタのチャネルショート現象を防止する液晶表示装置及びその製造方法に関する。

【背景技術】

【0002】

一般的に、液晶表示装置は、電界によって液晶分子を駆動し光透過率を調節することで画像を表示する装置である。液晶表示装置は、液晶によって遮蔽されない方向に光を透過することにより画像を表示するので、相対的に他の表示装置に比べて視野角が狭い。

【0003】

液晶表示装置の代表的な広視野角技術としては、垂直配向 (VA: Vertical Alignment) モードが用いられる。垂直配向モードは、負の異方性を有する液晶分子を基板に対して垂直に配向し、配向方向が印加される電界方向に垂直となるように駆動することによって光透過率を調節する。このような垂直配向モード技術は、ドメイン形成方法によって、MVA (Multi-domain Vertical Alignment) 技術、PVA (Patterned-ITO Vertical Alignment) 技術及び S-PVA (S-Patterned-ITO Vertical Alignment) 技術で区分される。

【0004】

MVA 技術として、上下基板に突起を形成し液晶分子がその突起を基準にして対称に予め配向方向が傾斜したプリチルト状態を構成し、電圧を印加してプリチルトの方向に駆動するようにしてマルチドメインを形成する、突起を用いた VA モードのものが知られている。

【0005】

PVA (Patterned-ITO Vertical Alignment) 技術として、上下基板の共通電極及び画素電極にスリットを形成してそのスリットによって発生するフリンジ電界を用いて

10

20

30

40

50

、液晶分子がスリットを基準にして対称に駆動するようにしてマルチ・ドメインを形成する、スリットパターンを用いたVAモードのものが知られている。

【0006】

S-PVA技術は、1つの画素を互いに異なるガンマ曲線に基づいてデータを表現する高階調サブ画素と低階調サブ画素で区分し、各サブ画素を高階調トランジスタと低階調トランジスタを通じて独立に駆動する。

【0007】

ところで、S-PVA技術を用いた液晶表示装置の製造過程では、静電気によるチャンネルショート不良、特に、静電気によって高階調トランジスタのチャンネルがショートし、液晶表示装置の製造数率（歩留まり）が低下するという問題点がある。

10

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

従って、本発明の目的は、高階調データ信号をスイッチングするトランジスタのドレイン電極を蓄積キャパシタの上部電極に接続する液晶表示装置及びその製造方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記課題を解決するために、第1コンタクトホールを介して接続された第1画素電極に、第1データラインから入力される第1データ信号電圧を印加する第1薄膜トランジスタと、前記第1コンタクトホールを介して前記第1画素電極と接続される端子電極を含む第1蓄積キャパシタと、前記第2コンタクトホールを介して前記第1画素電極と接続される端子電極を含み、前記第1データ信号電圧を蓄積する第2蓄積キャパシタと、第3コンタクトホールを介して接続された第2画素電極に、第2データラインから入力される第2データ信号電圧を印加する第2薄膜トランジスタと、前記第3コンタクトホールを介して前記第2画素電極と接続される端子電極を含む第3蓄積キャパシタと、第4コンタクトホールを介して前記第2画素電極と接続される端子電極を含み、前記第2データ信号電圧を蓄積する第4蓄積キャパシタと、前記第1蓄積キャパシタの端子電極は、前記第1薄膜トランジスタのドレイン電極と一体的に形成されることを特徴とする液晶表示装置を提供する。

20

30

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本発明の一実施例による液晶表示装置を示すブロック図である。

【図2】図2に示された液晶表示装置の画素の構造を示した平面図である。

【図3】図2に示された第1蓄積キャパシタのI-I'に沿って切断した断面図である。

【図4】図2及び図3に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明する図である。

【図5】図2及び図3に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明する図である。

【図6】図2及び図3に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明する図である。

40

【図7】図2及び図3に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明する図である。

【図8】図2及び図3に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明する図である。

【図9】図1に示された液晶表示装置の他の画素の構造を示した図面である。

【図10】図9に示された第3及び第4蓄積キャパシタのI-I'に沿って切断した断面図である。

【図11】図9及び図10に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図である。

50

【図１２】図９及び図１０に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図である。

【図１３】図９及び図１０に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図である。

【図１４】図９及び図１０に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図である。

【図１５】図９及び図１０に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図である。

【図１６】本発明の他の実施例による液晶表示装置を示したブロック図である。

【図１７】図１６に示された液晶表示装置の画素構造を示した平面図である。

10

【発明を実施するための形態】

【００１１】

以下、図面を参照して本発明の望ましい一実施例を図１～図１０を参照してより詳細に説明する。

【００１２】

図１は本発明の一実施例による液晶表示装置を示したブロック図である。図１に示されたように、本発明の一実施例による液晶表示装置１００は液晶パネル１１０、液晶パネル１１０のゲートラインＧＬ１、ＧＬ２を駆動するゲートドライバ１２０、液晶パネル１１０のデータラインＤＬ１～ＤＬ４を駆動するデータドライバ１３０、ゲートドライバ１２０とデータドライバ１３０を制御するタイミングコントローラ１４０、及び高階調ガンマ電圧と低階調ガンマ電圧とを選択的に供給するガンマ電圧部１５０を含む。

20

【００１３】

液晶パネル１１０は、１つのゲートラインＧＬ１；ＧＬ２と２つのデータラインＤＬ１、ＤＬ２；ＤＬ３、ＤＬ４に画定される複数の画素Ｐ１～Ｐ４を含む。１つの画素Ｐ１は高階調領域と低階調領域それぞれに形成された第１画素電極ＶＨと第２画素電極ＶＬ、第１画素電極ＶＨ及び第２画素電極ＶＬそれぞれ独立して接続される第１薄膜トランジスタＴ１と第２薄膜トランジスタＴ２、及び第１薄膜トランジスタＴ１と第２薄膜トランジスタＴ２に共通に接続されるゲートラインＧＬ１と第１薄膜トランジスタＴ１と第２薄膜トランジスタＴ２それぞれに接続されるデータラインＤＬ１、ＤＬ２を含む。ここで、高階調領域と低階調領域それぞれに形成された第１画素電極ＶＨと第２画素電極ＶＬは互いに異なる階調電圧曲線に基づいて生成された階調電圧に応じてデータを表現する。

30

【００１４】

一方、奇数番目ゲートラインＧＬ１に接続された奇数番目画素Ｐ１は、第１薄膜トランジスタＴ１が第１画素電極ＶＨに接続され、第２薄膜トランジスタＴ２が第２画素電極ＶＬに接続された構造を有し、奇数番目ゲートラインＧＬ１に接続された偶数番目画素Ｐ２は第１薄膜トランジスタＴ３が第２画素電極ＶＬに接続され、第２薄膜トランジスタＴ３が第１画素電極ＶＨに接続された構造を有する。

【００１５】

また、偶数番目ゲートラインＧＬ２に接続された奇数番目画素Ｐ３は第１薄膜トランジスタＴ５が第２画素電極ＶＬに接続され、第２薄膜トランジスタＴ６が第１画素電極ＶＨに接続された構造を有し、偶数番目ゲートラインＧＬ２に接続された偶数番目画素Ｐ４は第１薄膜トランジスタＴ７が第１画素電極ＶＨに接続され、第２薄膜トランジスタＴ８が第２画素電極ＶＬに接続された構造を有する。

40

【００１６】

タイミングコントローラ１４０は、外部から入力された同期信号及びクロック信号を用いてゲートドライバ１２０を制御するゲート制御信号と、データドライバ１３０を制御するデータ制御信号を発生し、外部から入力されるデータ信号を再整列してデータドライバ１３０に供給する。また、タイミングコントローラ１４０はガンマ電圧部１５０を制御するスイッチング信号を生成する。

【００１７】

50

ここで、スイッチング信号は1つの水平周期期間の間、高階調ガンマ電圧部152と低階調ガンマ電圧部154の出力をスイッチングするように、ガンマ電圧スイッチ156を制御する。スイッチング信号は、1つの水平周期期間の間、高階調ガンマ電圧部152と低階調ガンマ電圧部154の出力時間を適切に調整できるように選択可能となっている。以下では、スイッチング信号は、1/2水平周期の間、高階調ガンマ電圧部152が高階調ガンマ電圧を出力するようにし、残りの1/2水平周期の間、低階調ガンマ電圧部154が低階調ガンマ電圧を出力するように選択された場合を例示して説明する。

【0018】

ガンマ電圧部150は、複数の高階調ガンマ電圧を生成する高階調ガンマ電圧部152と、複数の低階調ガンマ電圧を生成する低階調ガンマ電圧部154と、高階調ガンマ電圧部ガンマ電圧部152と低階調ガンマ電圧部154の出力をスイッチングするガンマ電圧スイッチ156を含む。ガンマ電圧スイッチ156は、1/2水平周期の期間、高階調ガンマ電圧部152から高階調ガンマ電圧を、残りの1/2水平周期の期間、低階調ガンマ電圧部154から低階調ガンマ電圧をスイッチングしてデータドライバ130に供給する。

10

【0019】

ゲートドライバ120はタイミングコントローラ140からのゲート制御信号に応答して液晶パネル110のゲートラインGL1、GL2にゲート駆動信号を印加してゲートラインGL1、GL2を順に駆動する。

【0020】

20

データドライバ130はタイミングコントローラ140からのデータ制御信号に応答して、1/2水平周期の期間、高階調ガンマ電圧を用いてタイミングコントローラ140からのデータ信号を高階調データ信号に変換してデータラインDL1に供給し、残りの1/2水平周期の期間、低階調ガンマ電圧を用いてタイミングコントローラ140からのデータ信号を低階調データ信号に変換してデータラインDL2に供給する。

【0021】

図2及び図3に示すように、本発明の一実施例による液晶表示装置の画素の構造をさらに詳細に説明する。図2は図1の液晶表示装置の画素の構造を示した平面図である。図2に示されたように、本発明の一実施例による液晶表示装置の画素は第1画素電極260、第2画素電極262、第1薄膜トランジスタT1、第2薄膜トランジスタT2、ゲートライン210、第1データライン220、第2データライン225、第1蓄積キャパシタCST1及び第2蓄積キャパシタCST2を含む。

30

【0022】

第1画素電極260は、コンタクトホール268を介して第1トランジスタT1のドレイン電極254と第1蓄積キャパシタの上部電極250に接続される。第1画素電極260は第1トランジスタT1を介して第1データライン220から高階調データ信号の印加を受け高階調データ信号に基づく表示を行う。

【0023】

第2画素電極262は、第1画素電極260と分離されて第1画素電極260を取り囲む形状で形成される。第2画素電極262は、コンタクトホール264を介して第2トランジスタT2のドレイン電極259と接続され、コンタクトホール266を介して第2蓄積キャパシタの上部電極255に接続される。第2画素電極262は第2トランジスタT2を介して第2データライン225から低階調データ信号の印加を受けてデータ信号に基づく表示を行う。

40

【0024】

第1薄膜トランジスタT1は、ゲートライン210に接続されるゲート電極212、第1データライン220に接続されるソース電極222、ドレイン電極252に接続されるドレイン電極254、絶縁層を媒介にしてゲート電極212と重畳される活性層230を含む。第1薄膜トランジスタT1はゲートライン210に印加されるゲート駆動信号に
応答して1/2水平周期の期間、第1データライン220から供給される高階調データ信号

50

をドレイン電極 254 を介してドレインライン 252 に印加する。

【0025】

第2薄膜トランジスタT2は、ゲートライン210に接続されるゲート電極214、第2データライン225に接続されるソース電極227、ドレインライン257に接続されるドレイン電極259、絶縁層を媒介にしてゲート電極214と重畳する活性層232を含む。第2薄膜トランジスタT2は、ゲートライン210から印加されるゲート駆動信号に応答して、第2薄膜トランジスタT2は、1/2水平周期の期間、第2データライン225から供給される低階調データ信号を、ドレイン電極259を介してドレインライン257に印加する。

【0026】

ゲートライン210は第1薄膜トランジスタT1のゲート電極212と第2薄膜トランジスタT2のゲート電極214に接続される。ゲートライン210はゲートドライバから入力されるゲート駆動信号を第1薄膜トランジスタT1のゲート電極212と第2薄膜トランジスタT2のゲート電極214に印加する。

【0027】

第1データライン220は、画素の一侧であってゲートライン210に交差するように形成され、第1薄膜トランジスタT1のソース電極222に接続される。第1データライン220は1/2水平周期期限の間データドライバから入力される高階調データ信号を第1薄膜トランジスタT1のソース電極222に印加する。

【0028】

第2データライン225は、画素の他側であってゲートライン210に交差するように形成され、第2薄膜トランジスタT2のソース電極227に接続される。第2データライン225は、残り1/2水平周期期限の間、データドライバから入力される低階調データ信号を第2薄膜トランジスタT2のソース電極227に印加する。

【0029】

第1蓄積キャパシタCST1は、蓄積キャパシタライン240に接続される下部電極244と、絶縁層を媒介にして下部電極244と重畳する上部電極250を含む。上部電極250は、ドレインライン252を介して第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極254と直接接続される。第1蓄積キャパシタCST1の下部電極244と上部電極250は、第2蓄積キャパシタCST2の下部電極242と上部電極255より広い面積であることが望ましい。

【0030】

一方、ドレインライン252に接続された上部電極250は、コンタクトホール268を介して第1画素電極260に接続される。従って、第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極254に接続されたドレインライン252を介して入力される高階調データ信号は、第1画素電極260に印加されると同時に、第1蓄積キャパシタCST1に蓄積される。

【0031】

第2蓄積キャパシタCST2は、蓄積キャパシタライン240に接続される下部電極242と、絶縁層を媒介にして下部電極242と重畳する上部電極255を含む。上部電極255は、第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極259に接続された第2画素電極262とコンタクトホール266を介して接続される。従って、第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極259に接続されたドレインライン257を介して入力される低階調データ信号は第2画素電極262に印加され、第2蓄積キャパシタCST2に蓄積される。

【0032】

第1蓄積キャパシタCST1をさらに詳細に説明する。図3は図2の第1蓄積キャパシタのI-I'断面図である。図3に示されたように、第1蓄積キャパシタCST1はガラス基板202に形成された下部電極244と、絶縁層204を媒介にして下部電極244と重畳するように形成された上部電極250を含む。上部電極250はドレインライン252を介して第1薄膜トランジスタのドレイン電極と直接接続され、保護膜206に形成さ

10

20

30

40

50

れたコンタクトホール 268 を介して第 1 画素電極 260 に接続される。

【0033】

本発明の一実施例による液晶表示装置は、第 1 薄膜トランジスタ T1 のドレイン電極 254 と第 1 蓄積キャパシタ CST1 の上部電極 250 及び第 1 画素電極 260 の接続のための第 1 コンタクトホール 268、第 2 薄膜トランジスタ T2 のドレイン電極 259 と第 2 画素電極 262 の接続のための第 2 コンタクトホール 264、及び第 2 画素電極 262 と第 2 蓄積キャパシタ CST2 の上部電極 255 の接続のための第 3 コンタクトホール 266 を含む。

【0034】

即ち、本発明の一実施例による液晶表示装置は、第 1 薄膜トランジスタ T1 のドレイン電極 254 と第 1 画素電極 260 の直接接続のためのコンタクトホールを含まず、第 1 薄膜トランジスタ T1 のドレイン電極 254 が直接第 1 蓄積キャパシタ CST1 の上部電極 255 に接続される構造を有するので、液晶表示装置の製造過程で発生した静電気は、第 1 薄膜トランジスタ T1 に流入する前に第 1 蓄積キャパシタ CST1 に蓄積され、第 1 薄膜トランジスタ T1 に静電気が入る経路が遮断される。従って、液晶表示装置の製造過程では、静電気によるチャンネルショート不良、特に、静電気によって高階調トランジスタのチャンネルがショートする問題点を解決できる。

【0035】

本実施においては、第 1 薄膜トランジスタ T1 のドレイン電極 254 と第 1 画素電極 260 の直接接続のためのコンタクトホールを含まないで、第 1 薄膜トランジスタ T1 のドレイン電極 254 が直接第 1 蓄積キャパシタ CST1 の上部電極 255 に接続される構造に対して説明したが、このような構成に限定されるものではなく、第 2 薄膜トランジスタ T2 のドレイン電極 259 と第 2 画素電極 262 の直接接続のためのコンタクトホール 264 を除去し、第 2 薄膜トランジスタ T2 のドレイン電極 257 を直接第 2 蓄積キャパシタ CST2 の上部電極 255 に接続することもできる。

【0036】

以下、図 4 ~ 図 8 を参照して、図 1 の液晶表示装置の薄膜トランジスタ基板を製造する方法に関して説明する。

【0037】

図 4 はゲートライン形成工程を示す。ゲートライン形成工程はガラス基板上にゲート電極 212、214 を含むゲートライン 210 と、下部電極 242、244 を含む蓄積キャパシタライン 240 とを形成する。蓄積キャパシタライン 240 は、ゲートライン 210 に平行に形成される。具体的に、ガラス基板上にスパッタリング方法などで金属を蒸着する。金属層はモリブデン、アルミニウム、クロム、などとこれらの合金の単一層または複層構造を有することができる。

【0038】

図 5 は活性層形成工程を示す。活性層形成工程は、ゲートライン 210 と蓄積キャパシタライン 240 が形成されたガラス基板上にゲート絶縁膜を形成し、その上に第 2 マスク工程で、活性層 230、232 がゲート電極 212、214 に重畳するように形成する。活性層 230、232 は、オーミックコンタクト層をさらに含むことができる。具体的に、第 1 マスク工程を経たガラス基板上に、プラズマ化学気相蒸着 PECVD などの蒸着方法でゲート絶縁膜、非晶質シリコン層、n+非晶質シリコン層を順に形成する。そして、第 2 マスクを用いたフォトリソグラフィ工程及びエッチング工程で非晶質シリコン層、n+非晶質シリコン層、活性層 230、232 を形成する。ゲート絶縁膜は酸化シリコン SiO_x、窒化シリコン SiN_x のような無機絶縁物質であることが望ましい。また、活性層 230、232 はゲートライン 210 とデータラインとが交差される部分また蓄積キャパシタライン 240 とデータラインとが交差する部分にも形成することができる。

【0039】

図 6 はソース/ドレインパターン形成工程を示す。ソース/ドレインパターン形成工程は、活性層 230、232 が形成されたゲート絶縁膜上にソース/ドレイン金属パターンを

10

20

30

40

50

形成する。ソース/ドレイン金属パターンは、第1データライン220、第1薄膜トランジスタのソース電極222とドレイン電極254、第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250、第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極254と第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250を接続するドレインライン252、第2データライン225、第2薄膜トランジスタT2のソース電極227とドレイン電極259、第2蓄積キャパシタCST2の上部電極255及び第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極259に接続されるドレインライン257を含む。

【0040】

第1データライン220は、第1薄膜トランジスタT1のソース電極222に接続され、第2データライン225は第2薄膜トランジスタT2のソース電極227に接続される。一方、第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250は、第1蓄積キャパシタCST1の下部電極244に対応して形成し、第2蓄積キャパシタCST2の上部電極255は第2蓄積キャパシタCST2の下部電極242に対応して形成する。従って、第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250の面積は第2蓄積キャパシタCST2の上部電極255の面積より大きく形成される。

【0041】

具体的に、第2マスク工程を経たガラス基板上にソース/ドレイン金属層をスパッタリング方法で形成する。そして、第3マスクを用いたフォトリソグラフィ工程及びエッチング工程でソース/ドレイン金属層をパターンニングする。そして、ソース電極222、227とドレイン電極254、259の間に露出されるオーミックコンタクト層を除去してソース電極222、227とドレイン電極254、259を電氣的に分離させる。このようにして、ゲートライン210と第1データライン220に接続される第1薄膜トランジスタT1と、ゲートライン210と第2データライン225に接続される第2薄膜トランジスタT2とを形成することができる。

【0042】

図7はコンタクトホール形成工程を示す。コンタクトホール形成工程はソース/ドレイン金属パターンが形成されたゲート絶縁膜上に有機絶縁膜206を形成し、第4マスク工程で有機絶縁膜206の一部を除去して第1コンタクトホール268、第2コンタクトホール264及び第3コンタクトホール266を形成する。ここで、第1コンタクトホール268は、第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極254と第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250及び次の工程で形成される第1画素電極を接続するためのものである。第2コンタクトホール264は、第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極259と次の工程で形成される第2画素電極を接続するためのものである。第3コンタクトホール266は、第2画素電極と第2蓄積キャパシタCST2の上部電極255を接続するためである。

【0043】

具体的に、第3マスク工程を経たガラス基板上にアクリル系有機化合物などのような有機絶縁物質をスピンコーティング、スピンレスコーティングなどの方法でコーティングして有機絶縁膜206を形成する。そして、第4マスクを用いたフォトリソグラフィ工程及びエッチング工程で有機絶縁膜206の一部を除去して第1蓄積キャパシタCST1の上部電極250、第2薄膜トランジスタCST2のドレイン電極259に接続されたドレインライン257の末端及び第2蓄積キャパシタCST2の上部電極255を露出させ第1コンタクトホール268、第2コンタクトホール264及び第3コンタクトホール266を形成する。

【0044】

図8は画素電極形成工程を示す。画素電極形成工程は、有機絶縁膜上に透明導電パターンの第1画素電極260と第2画素電極262を形成する。具体的に、第4マスク工程を経たガラス基板上にITOまたはIZOなどのような透明導電物質をスパッタリングなどのような蒸着方法で塗布する。そして、第5マスクを用いたフォトリソグラフィ工程及びエッチング工程でパターンニングして、第1画素電極260と第2画素電極262を形成す

る。

【 0 0 4 5 】

画素電極形成工程で、第 1 画素電極 2 6 0 は第 1 コンタクトホール 2 6 8 を介して第 1 蓄積キャパシタ C S T 1 の上部電極 2 5 0 と接続される。また、第 2 画素電極 2 6 2 は第 2 コンタクトホール 2 6 4 を介して第 2 薄膜トランジスタ T 2 のドレイン電極 2 5 9 に接続されたドレインライン 2 5 7 に接続され、第 3 コンタクトホール 2 6 6 を介して第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 の上部電極 2 5 5 と接続される。

【 0 0 4 6 】

上述した方法で製造される薄膜トランジスタ基板は、共通電極とカラーフィルタの形成されたカラーフィルタ基板とアセンブリされて液晶表示装置の製造工程に使用することができる。

10

【 0 0 4 7 】

次に、本発明の一実施例による液晶表示装置の他の画素の構造を説明する。図 9 は図 1 に示された液晶表示装置の他の画素の構造を示した図である。図 9 に示されたように、本発明の液晶表示装置の他の画素は第 1 画素電極 3 6 0、第 2 画素電極 3 6 2、第 1 薄膜トランジスタ T 1、第 2 薄膜トランジスタ T 2、ゲートライン 3 1 0、第 1 データライン 3 2 0、第 2 データライン 3 2 5、第 1 蓄積共通 C S T 1、第 2 蓄積キャパシタ C S T 2、第 3 蓄積キャパシタ C S T 3 及び第 4 蓄積キャパシタ C S T 4 を含む。

【 0 0 4 8 】

第 1 画素電極 2 6 0 は、コンタクトホール 3 6 4 を介して第 1 トランジスタ T 1 のドレイン電極 3 5 4 及び第 3 蓄積キャパシタ C S T 3 の上部電極 3 8 0 と接続され、コンタクトホール 3 6 8 を介して第 1 蓄積キャパシタ C S T 2 の上部電極 3 5 5 に接続される。第 1 画素電極 3 6 0 は第 1 トランジスタ T 1 を介して第 1 データライン 3 2 0 から高データ信号の印加を受け高階調データ信号を表現する。

20

【 0 0 4 9 】

第 2 画素電極 2 6 2 は、第 1 画素電極 3 6 0 と分離され第 1 画素電極 3 6 0 を取り囲む形状に形成される。第 2 画素電極 3 6 2 はコンタクトホール 3 6 9 を介して第 2 トランジスタ T 2 のドレイン電極 3 5 9 及び第 4 蓄積キャパシタ C S T 4 と接続され、コンタクトホール 3 6 6 を介して第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 の上部電極 3 5 5 に接続される。第 2 画素電極 3 6 2 は、第 2 トランジスタ T 2 を介して第 2 データライン 3 2 5 から低階調データ信号の印加を受け低階調データ信号を表現する。

30

【 0 0 5 0 】

第 1 蓄積キャパシタ C S T 1 は、第 1 蓄積キャパシタライン 3 4 0 に接続される下部電極 3 4 4 と、絶縁層を媒介にして下部電極 3 4 4 と重畳する上部電極 3 5 0 を含む。上部電極 3 5 0 は、第 1 薄膜トランジスタ T 1 のドレイン電極 3 5 4 に接続された第 1 画素電極 3 6 0 とコンタクトホール 3 6 8 を介して接続される。第 3 蓄積キャパシタ C S T 2 は、第 2 蓄積キャパシタライン 3 4 1 に接続される下部電極 3 7 1 と、絶縁層を媒介にして下部電極 3 7 1 と重畳する上部電極 3 8 0 を含む。上部電極 3 8 0 は第 1 薄膜トランジスタ T 2 のドレイン電極 3 5 4 に接続され、第 1 画素電極 3 6 0 とコンタクトホール 3 6 4 を介して接続される。従って、第 1 薄膜トランジスタ T 1 のドレイン電極 3 5 4 に接続されたドレインライン 3 5 2 を介して入力される高階調データ信号は第 1 画素電極 3 6 0 に印加されると同時に第 1 蓄積キャパシタ C S T 1 に蓄積される。

40

【 0 0 5 1 】

第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 は、第 1 蓄積キャパシタライン 2 4 0 に接続される下部電極 3 4 2 と、絶縁層を媒介にして下部電極 3 4 2 と重畳される上部電極 3 5 5 を含む。上部電極 3 5 5 は第 2 薄膜トランジスタ T 2 のドレイン電極 3 5 9 に接続された第 2 画素電極 3 6 2 とコンタクトホール 3 6 6 を介して接続される。第 4 蓄積キャパシタ C S T 4 は、第 2 蓄積キャパシタライン 2 4 1 に接続される下部電極 3 7 3 と、絶縁層を媒介にして下部電極 3 7 3 と重畳する上部電極 3 8 2 を含む。上部電極 3 8 2 は、第 2 薄膜トランジスタ T 2 のドレイン電極 3 5 9 に接続され、第 2 画素電極 3 6 2 とコンタクトホール 3 6

50

9を介して接続される。従って、第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極359に接続されたドレインライン357を介して入力される低階調データ信号は第2画素電極362に印加され、第2蓄積キャパシタCST2に蓄積されることができる。

【0052】

ここで、第1蓄積キャパシタライン340と第2蓄積キャパシタライン341は連結ライン370、372によって電氣的に接続される。連結ライン370、372は第1及び第2画素電極360、362と重畳しないように形成して画素の開口率減少を防ぐようにすることが望ましい。

【0053】

第1薄膜トランジスタT1、第2薄膜トランジスタT2、ゲートライン310、第1データライン320及び第2データライン325は、図2の第1薄膜トランジスタT1、第2薄膜トランジスタT2、ゲートライン210、第1データライン220及び第2データライン225の説明から当業者が容易に理解できるので詳細な説明は省略する。

【0054】

第3蓄積キャパシタCST3及び第4蓄積キャパシタCST4をより詳細に説明する。図10は図9の第3蓄積キャパシタCST3のI-I'線に沿って切断した断面図である。図10に示されたように、第3蓄積キャパシタCST3はガラス基板302に形成された下部電極371と、絶縁層304を媒介にして下部電極344と重畳するように形成された上部電極350を含む。上部電極350はドレインライン352を介して第1薄膜トランジスタのドレイン電極と接続され、保護膜306に形成されたコンタクトホール364を介して第1画素電極360に連結される。第4蓄積キャパシタCST4は第3蓄積キャパシタCST3と同一の構造を有するので詳細な説明は省略する。

【0055】

本発明の一実施例による液晶表示装置は第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極354に接続される第3蓄積キャパシタCST3と第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極359に接続される第4蓄積キャパシタCST4を含む。ここで、第3及び第4蓄積キャパシタCST3、CST4は連結ライン370、372を介して第1及び第2蓄積キャパシタCST1、CST2に接続される。

【0056】

このような構造の液晶表示装置は、液晶表示装置の製造過程で発生された静電気がコンタクトホール364、369を介して第1薄膜及び第2薄膜トランジスタT1、T2に流入する前に、第3蓄積キャパシタ及び第4蓄積キャパシタCST3、CST4に蓄積され、第1及び第2蓄積キャパシタCST1、CST2に拡散され、第1及び第2薄膜トランジスタT1、T2に静電気が流入する経路を遮断する。従って、液晶表示装置の製造過程で、静電気によるチャンネルショート不良、特に、静電気によって高階調トランジスタのチャンネルがショートするという問題点を解決できる。

【0057】

図11～図14は図9及び図10に示された薄膜トランジスタ基板を製造する方法を説明するための図面である。図11はゲートライン形成工程を示す。ゲートライン形成工程はガラス基板上にゲート電極312、314が含まれたゲートライン310と下部電極が含まれた第1及び第2蓄積キャパシタライン340、341を形成する。第1及び第2蓄積キャパシタライン340、341は、互いに電氣的に接続する連結ライン370、372をさらに含む。具体的な工程は図4のゲートライン形成工程と同一であるので詳細な説明は省略する。

【0058】

図12は活性層形成工程を示す。活性層330、332工程は図4の活性層形成工程と同一であるので詳細な説明は省略する。

【0059】

図13はソース/ドレインパターン形成工程を示す。ソース/ドレインパターン形成工程は活性層330、332が形成されたゲート絶縁膜上にソース/ドレイン金属パターンを

10

20

30

40

50

形成する。ソース/ドレイン金属パターンは第1及び第2データライン320、325、第1及び第2薄膜トランジスタT1、T2のソース電極322、327とドレイン電極354、359、第1～第4蓄積キャパシタCST1、CST2、CST3、CST4の上部電極350、355、380、382、第1及び第2薄膜トランジスタT1、T2のドレイン電極354、359と第3及び第4蓄積キャパシタCST3、CST4の上部電極380、382をそれぞれ接続するドレインライン352、357を含む。

【0060】

第1及び第2データライン320、325は、それぞれ第1及び第2薄膜トランジスタT1のソース電極322、327に接続される。一方、第1～第4蓄積キャパシタの上部電極350、355、380、382は、それぞれ第1～第4蓄積キャパシタの下部電極344、342、371、373に対応して形成される。具体的な工程は図6のソース/ドレインパターン形成工程と同一であるので詳細な説明は省略する。

10

【0061】

図14はコンタクトホール形成工程を示す。コンタクトホール形成工程はソース/ドレイン金属パターンが形成されたゲート絶縁膜上に有機絶縁膜306を形成し、第4マスク工程で有機絶縁膜306の一部を除去して第1～第4コンタクトホール368、366、364、369を形成する。ここで、第1コンタクトホール368は第1蓄積キャパシタCST1の上部電極350と次の工程で形成される第1画素電極を接続するためのである。第2コンタクトホール366は第2蓄積キャパシタCST2の上部電極355と次の工程で形成される第2画素電極を接続するためのである。

20

【0062】

第3コンタクトホール364は第3蓄積キャパシタCST3の上部電極380と次の工程で形成される第1画素電極を接続するためのである。第4コンタクトホール369は第4蓄積キャパシタCST4の上部電極382と次の工程で形成される第2画素電極を接続するためのである。具体的な工程は図7のソース/ドレインパターン形成工程から当業者が容易に類推できるので詳細な説明は省略する。

【0063】

図15は画素電極形成工程を示す。画素電極形成工程は、有機絶縁膜上に透明導電パターンの第1画素電極360と第2画素電極362を形成する。具体的な工程は図8の画素電極形成工程から当業者が容易に類推できるので詳細な説明は省略する。

30

【0064】

画素電極形成工程で第1画素電極360は第1コンタクトホール368を介して第1蓄積キャパシタCST1の上部電極350と接続され、第3コンタクトホール366を介して第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極354に接続される。また、第2画素電極362は第2コンタクトホール366を介して第2蓄積キャパシタCST2の上部電極355と接続され、第4コンタクトホール369を介して第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極359に接続される。

【0065】

上述した方法で製造される薄膜トランジスタ基板は共通電極とカラーフィルタの形成されたカラーフィルタ基板とアセンブリされ液晶表示装置の製造工程で使用されることができ

40

【0066】

図16は、本発明の他の実施例による液晶表示装置を示すブロック図である。図16に示されたように、本発明の他の一実施例による液晶表示装置400は液晶パネル410と、液晶パネル410のゲートラインGL1～GL4を駆動するゲートドライバ420と、液晶パネル410のデータラインDL1、DL2を駆動するデータドライバ430と、ゲートドライバ420とデータドライバ430を制御するタイミングコントローラ440及び高階調ガンマ電圧と低階調ガンマ電圧を選択的に供給するガンマ電圧部450を含む。

【0067】

液晶パネル410は2つのゲートラインと1つのデータラインで画定される複数の画素

50

P 1 ~ P 4 を含む。1 つの画素 P 1 は高階調領域と低階調領域それぞれに形成された第 1 画素電極 V H と第 2 画素電極 V L、第 1 画素電極 V H 及び第 2 画素電極 V L それぞれに独立して接続される第 1 薄膜トランジスタ T 1 と第 2 薄膜トランジスタ T 2、及び第 1 薄膜トランジスタ T 1 と第 2 薄膜トランジスタ T 2 に共通に接続されるデータライン D L 1 と第 1 薄膜トランジスタ T 1 の第 2 薄膜トランジスタ T 2 それぞれに接続されるゲートライン G L 1、G L 2 を含む。ここで、高階調領域と低階調領域それぞれに形成された第 1 画素電極 V H と第 2 画素電極 V L は互いに異なる階調電圧カバーによって生成された階調電圧に応じてデータを表現する。

【 0 0 6 8 】

タイミングコントローラ 4 4 0、ゲートドライバ 4 2 0、データドライバ 4 3 0 及びガンマ電圧部 4 5 0 は図 1 のタイミングコントローラ 1 4 0、ゲートドライバ 1 2 0、データドライバ 1 3 0 及びガンマ電圧部 1 5 0 の構成及び動作から容易に類推できるので詳細な説明は省略する。

【 0 0 6 9 】

図 1 7 を参照して、本発明の他の実施例による液晶表示装置の画素の構造をより詳細に説明する。図 1 7 は図 1 6 に示された液晶表示装置の画素の構造を示す平面図である。図 1 7 に示されたように、本発明の他の実施例による液晶表示装置の画素は第 1 画素電極 5 6 0、第 2 画素電極 5 6 2、第 1 薄膜トランジスタ T 1、第 2 薄膜トランジスタ T 2、第 1 ゲートライン 5 1 0、第 2 ゲートライン 5 1 5、データライン 5 2 0、第 1 蓄積キャパシタ C S T 1、及び第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 を含む。

【 0 0 7 0 】

第 1 画素電極 5 6 0 はコンタクトホール 5 6 8 を介して第 1 トランジスタ T 1 のドレイン電極 5 5 4 と第 1 蓄積キャパシタ C S T 1 の上部電極 5 5 0 に接続される。第 1 画素電極 5 6 0 は第 1 トランジスタ T 1 を介してデータライン 5 2 0 から高階調データ信号の印加を受け高階調データ信号を表現する。

【 0 0 7 1 】

第 2 画素電極 5 6 2 は第 1 画素電極 5 6 0 と分離され第 1 画素電極 5 6 0 を取り囲む形状に形成される。第 2 画素電極 5 6 2 はコンタクトホール 5 6 4 を介して第 2 トランジスタ T 2 のドレイン電極 5 5 9 と接続され、コンタクトホール 5 6 6 を介して第 2 蓄積キャパシタ C S T 2 の上部電極 5 5 5 に接続される。第 2 画素電極 5 6 2 は第 2 トランジスタ T 2 を介してデータライン 5 2 0 から低階調データ信号の印加を受け低階調データ信号を表現する。

【 0 0 7 2 】

第 1 薄膜トランジスタ T 1 は第 1 ゲートライン 5 1 0 に接続されるゲート電極 5 1 2、データライン 5 2 0 に接続されるソース電極 5 2 2、ドレインライン 5 5 2 に接続されるドレイン電極 5 5 4、絶縁層を媒介にしてゲート電極 5 1 2 と重畳する活性層を含む。第 1 薄膜トランジスタ T 1 は、第 1 ゲートライン 5 1 0 に印加されるゲート駆動信号にตอบสนองして、1 / 2 水平周期期限の間、データライン 5 2 0 から供給される高階調データ信号をドレイン電極 5 5 4 を介してドレインライン 5 5 2 から印加する。

【 0 0 7 3 】

第 2 薄膜トランジスタ T 2 は、第 2 ゲートライン 5 1 5 に接続されるゲート電極 5 1 4、データライン 5 2 0 に接続されるソース電極 5 2 7、ドレインライン 5 5 7 に接続されるドレイン電極 5 5 9、絶縁層を媒介にしてゲート電極 5 1 4 と重畳する活性層 5 3 2 を含む。第 2 薄膜トランジスタ T 2 は、第 2 ゲートライン 5 1 5 に印加されるゲート駆動信号にตอบสนองして、残り 1 / 2 水平周期期限の間、データライン 5 2 0 から供給される低階調データ信号をドレイン電極 5 5 9 を介してドレインライン 5 5 7 に印加する。

【 0 0 7 4 】

第 1 ゲートライン 5 1 0 は、第 1 薄膜トランジスタ T 1 のゲート電極 5 1 2 に接続される。第 1 ゲートライン 5 1 0 は、1 / 2 水平周期期限の間、ゲートドライバから入力されるゲート駆動信号を第 1 薄膜トランジスタ T 1 のゲート電極 5 1 2 に印加する。

【 0 0 7 5 】

第2ゲートライン515は、第2薄膜トランジスタT2のゲート電極514に接続される。第2ゲートライン512は、残り1/2水平周期期限の間、ゲートドライバから入力されるゲート駆動信号を第2薄膜トランジスタT2のゲート電極514に印加する。

【 0 0 7 6 】

データライン520は、画素の一側に形成され第1及び第2ゲートライン510、515に交差するように形成され、第1薄膜トランジスタT1のソース電極522と第2薄膜トランジスタT2のソース電極527に接続される。データライン520は、1/2水平周期期限の間、データドライバから入力される高階調データ信号を第1薄膜トランジスタT1のソース電極522に印加し、残り1/2水平周期期限の間、データドライバから入力される低階調データ信号を第2薄膜トランジスタT2のソース電極527に印加する。

10

【 0 0 7 7 】

第1蓄積キャパシタCST1は、蓄積キャパシタライン540に接続される下部電極544と、絶縁層を媒介にして下部電極544と重畳する上部電極550を含む。上部電極550は、ドレインライン522を介して第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極544と直接接続される。第1蓄積キャパシタCST1の下部電極544と上部電極550は第2蓄積キャパシタCST2の下部電極542と上部電極555より広い面積を有することが望ましい。

【 0 0 7 8 】

一方、ドレインライン552に接続された上部電極550はコンタクトホール568を介して第1画素電極560に接続される。従って、第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極554に接続されたドレインライン552を介して入力される高階調データ信号は、第1画素電極560に印加されると同時に第1蓄積キャパシタCST1に蓄積される。

20

【 0 0 7 9 】

第2蓄積キャパシタCST2は、蓄積キャパシタライン540に接続される下部電極524と、絶縁層を媒介にして下部電極542と重畳する上部電極555を含む。上部電極555は第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極559と接続された第2画素電極562とコンタクトホール566を介して接続される。従って、第2薄膜トランジスタT2のドレイン電極559に接続されたドレインライン557を介して入力される低階調データ信号は第2画素電極562に印加され、第2蓄積キャパシタCST2に蓄積される。

30

【 0 0 8 0 】

即ち、本発明の他の例による液晶表示装置は第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極554と第1画素電極560との直接接続のためのコンタクトホールが除去され、第1薄膜トランジスタT1のドレイン電極554が直接第1蓄積キャパシタCST1の上部電極550に接続される構造を有するので、液晶表示装置の製造過程で発生された静電気は第1薄膜トランジスタT1に流入する前に、第1蓄積キャパシタCST1に蓄積され、第1薄膜トランジスタT1に静電気が入力する経路を遮断する。従って、液晶表示装置の製造過程では静電気によるチャンネルショート不良、特に、静電気によって高階調トランジスタのチャンネルがショートする問題点を解決できる。

【 産業上の利用可能性 】

40

【 0 0 8 1 】

上述したように、本発明による液晶表示装置は高階調データ信号をスイッチングするトランジスタのドレイン電極を蓄積キャパシタの上部電極に連結させた構造を有するので、従来コンタクトホールに流入する静電気によって高階調データ信号をスイッチングする薄膜トランジスタのチャンネルがショートされる現象が除去され歩留まりを向上するという効果がある。

【 0 0 8 2 】

以上、本発明の実施例によって詳細に説明したが、本発明はこれに限定されず、本発明が属する技術分野において通常の知識を有する者であれば、本発明の思想と精神を離れることなく、本発明を修正または変更できる。

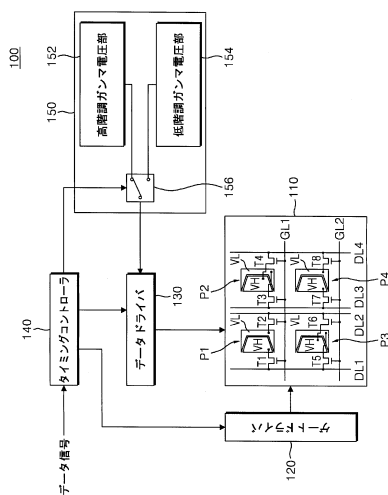
50

【符号の説明】

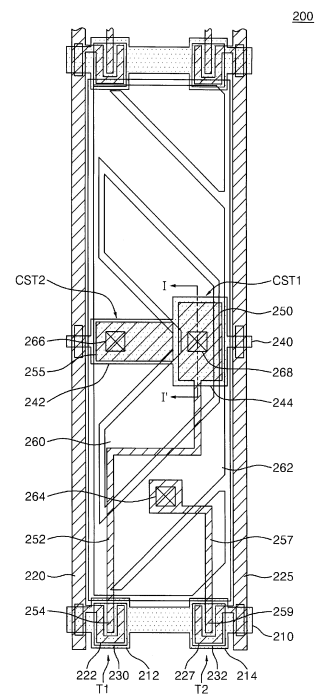
【 0 0 8 3 】

1 0 0	液晶表示装置
1 1 0	液晶パネル
1 2 0	ゲートドライバ
1 3 0	データドライバ
1 4 0	タイミングコントローラ
1 5 0	ガンマ電圧部

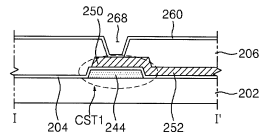
【図 1】



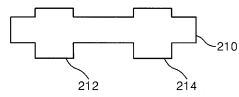
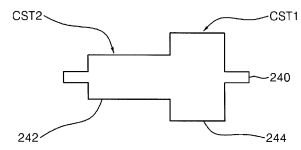
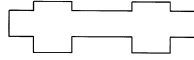
【図 2】



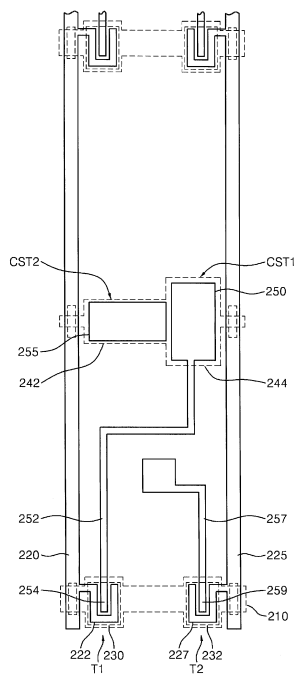
【図 3】



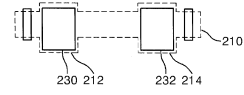
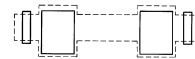
【図 4】



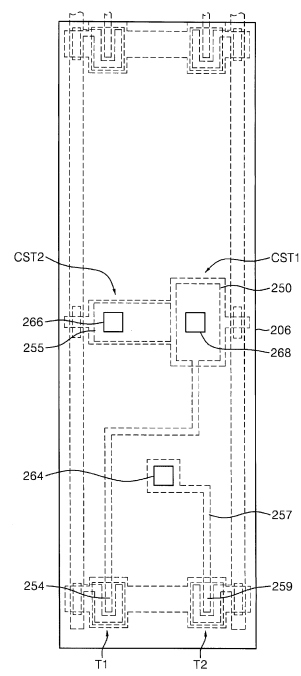
【図 6】



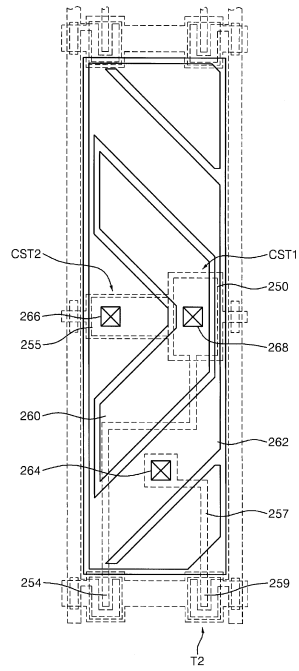
【図 5】



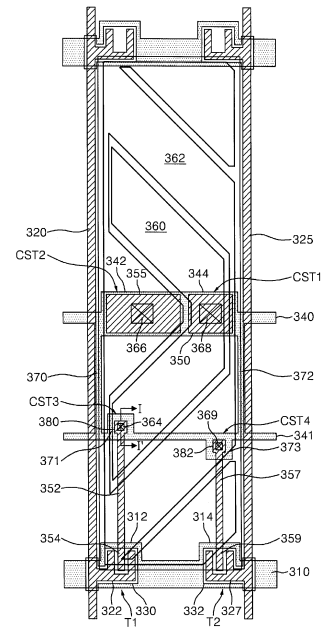
【図 7】



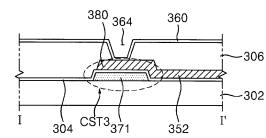
【図 8】



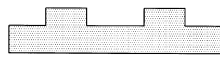
【図 9】



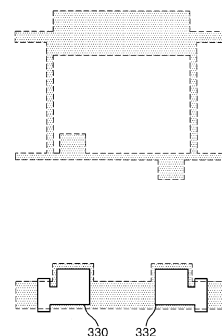
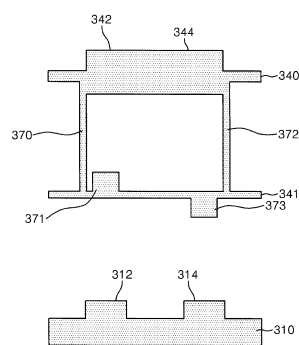
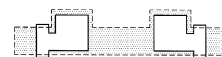
【図 10】



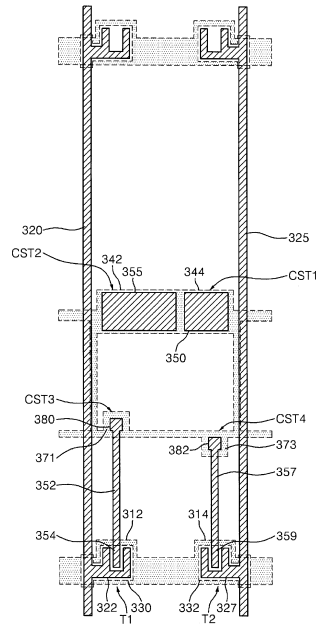
【図 11】



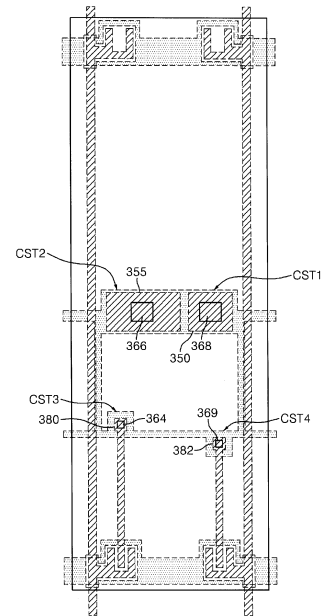
【図 12】



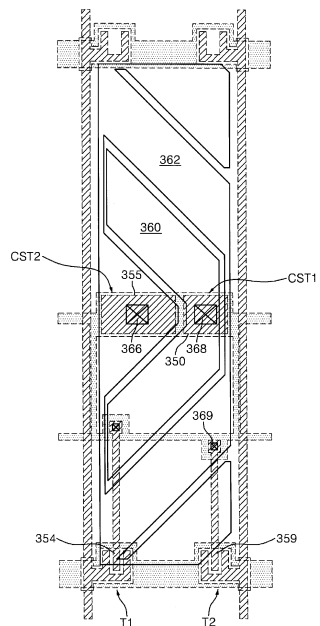
【図 13】



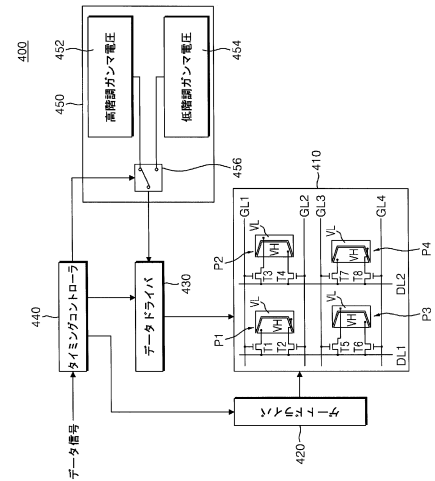
【図 14】



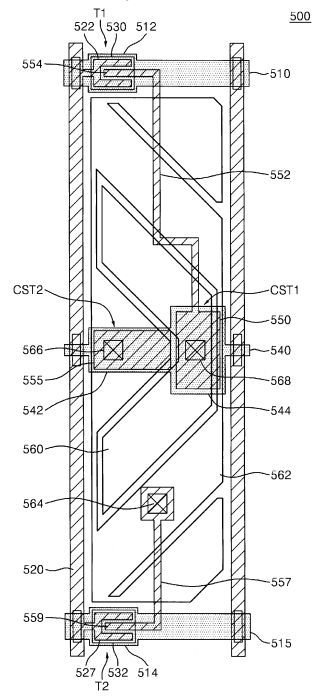
【図 15】



【図 16】



【 図 1 7 】



フロントページの続き

(72)発明者 田 尚 益

大韓民国京畿道龍仁市器興区甫羅洞現代モーニングサイド2次アパート103棟1702号

(72)発明者 金 東 奎

大韓民国京畿道龍仁市豊徳川2洞三星5次アパート523棟1305号

審査官 森江 健蔵

(56)参考文献 特開2006-139288(JP,A)

特開2007-206702(JP,A)

特開2006-209135(JP,A)

特開2007-025658(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G02F 1/1368

G02F 1/1343

专利名称(译)	液晶表示装置		
公开(公告)号	JP5758514B2	公开(公告)日	2015-08-05
申请号	JP2014030132	申请日	2014-02-20
[标]申请(专利权)人(译)	三星显示有限公司		
申请(专利权)人(译)	三星显示器的股票会社		
当前申请(专利权)人(译)	三星显示器的股票会社		
[标]发明人	田尚益 金東奎		
发明人	田 尚 益 金 東 奎		
IPC分类号	G02F1/1368 G02F1/1343		
CPC分类号	G02F1/13624 G02F1/136204 G02F2001/134345 G09G3/3648 G09G3/3696 G09G2300/0426 G09G2300/0443 G09G2320/0673		
FI分类号	G02F1/1368 G02F1/1343		
F-TERM分类号	2H092/GA13 2H092/JA26 2H092/JA46 2H092/JB05 2H092/JB42 2H092/JB64 2H092/JB69 2H092/JB79 2H092/NA14 2H092/QA09 2H192/AA24 2H192/BA13 2H192/BA23 2H192/BC24 2H192/BC31 2H192/CB05 2H192/CC04 2H192/CC41 2H192/DA12 2H192/DA42 2H192/DA65 2H192/GA31 2H192/JA13		
代理人(译)	山下大沽嗣 尼诺雄一		
审查员(译)	森江 健蔵		
优先权	1020060105656 2006-10-30 KR 1020060125332 2006-12-11 KR		
其他公开文献	JP2014115676A		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

液晶显示器 (“LCD”) 装置包括第一薄膜晶体管 (“TFT”) , 其将从第一数据线提供的高灰度数据信号施加到第一像素电极, 上电极连接到第一像素电极通过第一接触孔, 并直接连接到第一TFT, 存储高灰度数据信号的第一存储电容器, 第二TFT将从第二数据线提供的低灰度数据信号施加到第二像素电极第二接触孔, 通过第三接触孔连接到第二像素电极的上电极, 以及存储低灰度数据信号的第二存储电容器。

(21) 出願番号	特願2014-30132 (P2014-30132)	(73) 特許権者	512187343
(22) 出願日	平成26年2月20日 (2014. 2. 20)		三星ディスプレイ株式会社
(62) 分割の表示	特願2007-281766 (P2007-281766) の分割		Samsung Display Co., Ltd.
原出願日	平成19年10月30日 (2007. 10. 30)		大韓民国京畿道龍仁市器興区三星二路95
(65) 公開番号	特開2014-115676 (P2014-115676A)		95, Samsung 2 Ro, Gih
(43) 公開日	平成26年6月26日 (2014. 6. 26)		eung-Gu, Yongin-City
審査請求日	平成26年2月20日 (2014. 2. 20)		, Gyeonggi-Do, Korea
(31) 優先権主張番号	10-2006-0105656	(74) 代理人	100121382
(32) 優先日	平成18年10月30日 (2006. 10. 30)		弁理士 山下 託嗣
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)	(74) 代理人	100175628
(31) 優先権主張番号	10-2006-0125332		弁理士 仁野 裕一
(32) 優先日	平成18年12月11日 (2006. 12. 11)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		